

鳥羽の観光もっとと魅力化事業実施中！！

～2年間の軌跡(前期アクションプログラム)とこれから(後期アクションプログラム)～

市では平成20年に策定した観光基本計画の具体的な事業計画である前期アクションプログラムに基づき、事業を実施してきました。今回は、これまでの2年間の軌跡と今後の取り組み(後期アクションプログラム)について主な事業をご紹介します。

観光課観光企画係 ☎ 25 1 1 5 5

前期アクションプログラム (平成21年度～平成22年度)

市場調査事業、宿泊産業活化推進事業

平成21年度には、観光施策や観光地づくりを戦略的に進めていくための基礎資料として市場調査を行い、観光産業活性化戦略を策定しました。平成22年度は、戦略に基づき宿泊産業活性化推進事業を展開し、市内を4エリアに分け、「食」の魅力アップをテーマにワークショップを重ねました。



多言語観光ホームページ作成事業

鳥羽市観光情報サイトをリニューアルし、より利便性の高い観光ホームページの作成しました。英語、中国語(繁体語、簡体語)、韓国語、フランス語の5つの外国語に対応しています。
<http://www.tobakanko.jp/>



広告宣伝戦略事業

平成21年度に鳥羽市広告宣伝戦略委員会を設立し、「恋する鳥羽」を核にした「鳥羽市広告宣伝戦略」を策定しました。平成22年度は戦略に基づいて、テレビや雑誌、Web(ホームページ、twitter)などさまざまな媒体を活用した広告宣伝活動を行っています。



観光プロモーション用動画、静止画作成事業

より具体的に鳥羽の見どころを紹介していくため、観光プロモーションに活用する動画と静止画を撮影しました。撮影した動画と静止画は、観光情報サイト(<http://www.tobakanko.jp/>)でご覧頂くことができます。



観光案内サイン整備事業

平成21年度に「鳥羽市観光案内サイン整備事業計画」を策定し、計画に基づいて平成21、22年度で計17件の観光案内サインの新規・改修・撤去などを行いました。外国人観光客を意識した多言語表記や視認性の高いピクトグラムの採用など新しい取り組みも実施しています。



新しい「食」の魅力創造事業

鳥羽の食材を使った「とばーがー」や「鳥羽弁当」の普及に取り組み、パンフレットやオリジナルキャラクターを活用した情報発信を行っています。現在とばーがーは21種類、鳥羽弁当は13種類を認定しています。



エコツーリズム推進事業

鳥羽の豊かな自然や歴史・文化の保護と活用を進める「エコツーリズム」を推進するため、平成22年7月に鳥羽市エコツーリズム推進協議会を設立しました。これまで協議会を中心に「鳥羽エコツーリズム宣言」の発表や循環モデルの構築を行い、エコツーリズム先進地域として邁進しています。



鳥羽駅ボランティアガイド事業

観光繁忙期のゴールデンウィークとお盆期間中、ボランティアを募り鳥羽駅周辺で高齢者や体の不自由なかたのサポートや観光案内を行いました。



まち歩き島歩き旅行商品造成販売事業

鳥羽駅周辺のまち歩きと離島歩きを旅行商品として販売し、観光客の誘致を図りました。駅周辺のまち歩きでは「ちょこ得まち歩きマップ」を作成し、まち歩きの魅力づくりを行いました。



カモメの散歩道水中ライトアップ事業

平成 22 年度の夏にカモメの散歩道付近に水中灯を設置し、ライトアップを実施しました。鳥羽随一の景観スポットに幻想的な緑の光が浮かび上がり、新しい夜の魅力を演出しました。



安楽島海水浴場施設整備事業

平成 22 年度に老朽化が進んだ安楽島海水浴場の更衣室やトイレをリニューアルしました。ユニバーサルデザインに対応し、障がい者のかたやお子さんにも安全で安心して利用できる施設に生まれ変わりました。



休憩所ボランティアネットワーク事業

まち歩きをより快適に楽しんでいただけるよう、岩崎通りを中心に休憩用ベンチを設置しました。



後期アクションプログラムでは

平成 23 年度から平成 27 年度までの 5 年間を後期アクションプログラムの実施期間とし、特に伊勢神宮で 20 年に一度行われる式年遷宮を平成 25 年に迎えるにあたって最大限の効果を得ながら、遷宮以降もその活力を持続できるように、取り組み目標を「伊勢神宮式年遷宮に向けた誘客促進と受け皿づくり」とし、この目標を達成するために 5 つの重点戦略を実施します。



重点戦略 1 鳥羽マリンタウンエリアの魅力づくり

平成 23 年 4 月の新港開港と観光交流・海上交通拠点施設である鳥羽マリンターミナルの完成を機に、伊勢志摩地域の海の玄関口と鳥羽の陸の玄関口としての近鉄、JR 両鳥羽駅を含めた鳥羽マリンタウンエリア周辺の魅力づくりを進めます。

戦略に基づく主な事業として「花を活用した歓迎空間づくり事業」や「カモメの散歩道水中ライトアップ事業」「ウォーターフロントのイルミネーション事業」を実施します。

その中でも特に本年度始まる「ウォーターフロントのイルミネーション事業」は、カモメの散歩道からマリンターミナルにかけてのウォーターフロントエリアのイルミネーションを 3 年間かけて全体整備し、このエリアの夜の魅力を向上させ、観光客の宿泊と滞在時間の延長につなげることを目的としています。



ウォーターフロントのイルミネーション

重点戦略 2 宿泊産業活性化の推進

式年遷宮に向けて観光客の増加が見込まれる中、より多くのかたに鳥羽に泊まって滞在していただくことが、市全体への経済波及効果につながります。

戦略に基づく主な事業として「宿泊産業活性化推進事業」を行います。「鳥羽に泊まってみたい」「また鳥羽に泊まりたい」と思っただけのような質の高い滞在型の観光地を目指します。



宿泊産業活性化事業イメージ



重点戦略3 食の魅力創造と食をテーマとした旅の構築

「食」は鳥羽観光の主要な旅行目的となっており、伊勢志摩地域の豊かな食材を活かし、鳥羽らしい付加価値のある食を提供することを目指して、食の魅力づくりとともに宿泊産業との連携を強化し、食をテーマとした市内を巡る旅を提案します。

「ご当地グルメ推進事業」では、鳥羽のご当地グルメ「鳥羽弁当」「とばーがー」の開発を推進し、認定数を増やすとともに、市外、市内での認知度を高めていくためのPR活動を強化します。とばーがーキャラクター「トーバ」と「トパティ」を主とした広報宣伝活動で、こどもからお年寄りのかたまで広く知っていただけるような活動を行います。

「食をテーマとした新しい旅の構築事業」では、市内各地域の特徴ある食を「味わう」、漁村の風景や漁業の様子を「見る」、海女小屋を「体験する」、海女文化を「学ぶ」、海産物を「買う」などのテーマを連携させて、食をテーマとした新しい旅を提案します。

「食の魅力開発事業」では、鳥羽の新鮮な食材やその料理方法などについて、味の向上など高付加価値化を行うための調査研究を行います。

また、提供方法、見せ方など、食に関する幅広い知識を得るための講習会や、食のレベルアップの気運を高めるために料理研究会などを開催します。さらに式年遷宮に向け、地域食材を活かした魅力ある食（弁当など）の開発を目指します。



重点戦略4 首都圏を含めたプロモーションの強化

首都圏は国内最大のマーケットであるだけでなく、国内外の情報発信の拠点であり、観光客の誘致を進める上でも重要なエリアです。そこで、首都圏を中心とした市場をターゲットとした、滞在型の観光客を誘致していきます。

「広告宣伝戦略事業」では、「恋する鳥羽」のイメージを核とした広告宣伝を拡大していきます。

「首都圏戦略旅行商品造成事業」では、伊勢神宮式年遷宮に向けて新しい観光客を獲得するために、関西、中京圏に比べ鳥羽の知名度が低い首都圏への集中的な広告宣伝活動（キャンペーン）を実施し、誘客を促進します。



重点戦略5 インバウンド(訪日外国人旅行者)の促進

国のインバウンド政策が積極的に進められ、外国人観光客の増加が期待されており、外国人をターゲットとしたプロモーション活動や受入体制の整備を進めていきます。

戦略に基づく主な事業であるインバウンド促進事業では、伊勢志摩地域・鳥羽市外国人観光客誘致促進協議会（事務局：鳥羽商工会議所）を中心に、東アジア市場を主なターゲットとして誘客活動の強化を行います。



外国人旅行者向けのガイドブック

このほかにも23の事業があり、総計33の事業からなる計画が鳥羽市観光基本計画後期アクションプログラムです。なお、「鳥羽市観光基本計画」、「鳥羽市観光基本計画後期アクションプログラム」の詳細については、直接観光課にお問い合わせいただくか、市のホームページに掲載されていますのでご覧ください。